「ガイダンス Python による確率統計」正誤表

初版 1 刷の正誤表 （2026 年 9 月 2 日）

阿部滉平さん，斉藤剣生さん，藤枝慶次先生には 1 刷発行後に誤りをご指摘頂きました．ここに謝辞を述べさせて頂きます．

※ · · · サポートページに掲載のサンプルコードは修正済です．

頁	場所	誤	正
	全ての Python コード※	Python 3.13 以降は結果を出力するとき print 関数を使わなければいけないように仕様変更されたので，サポートページに掲載のサンプルコードでそのように修正	
3	例 1.1.3	A，B，C は事象とする．	A，B，C は 3 つの事象とする．
3	問 1.1.1	A，B，C は事象とする．	A，B，C は 3 つの事象とする．
15	トピックス 1	$(\omega_b^{(i)}, \omega_b^{(i)})$	$(\omega_b^{(i)}, \omega_b^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_b^{(i)}, \omega_g^{(i)})$	$(\omega_b^{(i)}, \omega_g^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_g^{(i)}, \omega_b^{(i)})$	$(\omega_g^{(i)}, \omega_b^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_g^{(i)}, \omega_g^{(i)})$	$(\omega_g^{(i)}, \omega_g^{(j)})$
17	コード 2(前半) の 23 行目（コメント部分）※	確率 pg で n2 に 2 を代入，確率 (1-pg) で n2 に 0 を代入	確率 pg で n2 に 1 を代入，確率 (1-pg) で n2 に 0 を代入
22	コード 4 の 11 行目（コメント部分）※	0 が正規品, 1 が不良品	機械 A で製造（0 が正規品, 1 が不良品）
23	コード 4 の 16 行目（コメント部分）※	0 が正規品, 1 が不良品	機械 B で製造（0 が正規品, 1 が不良品）
23	コード 4 の 21 行目（コメント部分）※	0 が正規品, 1 が不良品	機械 C で製造（0 が正規品, 1 が不良品）
37	コード 6 (例題 2.1.3)	次のコードを実行すれば例題 2.3.1 を解くことができる．	次のコードを実行すれば例題 2.1.3 を解くことができる．
72	例 3.2.3	$\cdots = \sqrt{V(X)}\sqrt{V(Y)}.$	$\cdots = \sqrt{V(X)}\sqrt{V(Y)}$
76	コード 11 の 3 行目と 4 行目の 2 箇所（コメント部分）※	· · · 円硬貨の合計金額	· · · 円硬貨の合計金額を格納する配列
82	注意 3.2.5 (※ 3 箇所)	$f'(x)$	$f_n'(x)$

頁	場所	誤	正
86		定理 A.2.2 (多項定理) を用いると，$1 \leq i < j \leq n$ をみたす i，j に対して，	定理 A.2.2 (多項定理) を用いると，$1 \leq i < j \leq k$ をみたす i，j に対して，
110	コード 14 の 19 行目（コメント部分）※	monte(i+1, a) (i=0,...,n-1) を順に代入	monte_carlo(i+1, a) (i=0,1,...,n-1) を順に代入
111	コード 15 の 6 行目（コメント部分）※	ξ に代入	xi に代入
111	コード 15 の 8 行目（コメント部分）※	η に代入	eta に代入
142	6.2 節	最も良い統計的推定法の 1 つと考えられている最尤推定法について説明しよう．	最も良い統計的推定法の 1 つと考えられている最尤法について説明しよう．
163	コード 20 の 10 行目，24 行目の 2 箇所（コメント部分）※	0 < lambda < 1 に対して	0 < lamb < 1 に対して
173	コード 21（例題 7.4.1）	9 行目でこの p 値を求めている．	9 行目，10 行目でこの p 値を求めている．
210	定理 A.17.1 の証明	$\langle v_j, v_{s+1} \rangle = \cdots$	$\|v'_{s+1}\| \langle v_j, v_{s+1} \rangle = \cdots$
213	コード 24 の 15 行目と 18 行目の 2 箇所（コメント部分）※	$\cdots$ になる確率の表示	$\cdots$ になる確率を表示
214	コード 24 の結果の 1 行目と 6 行目の 2 箇所	$\cdots$ になる確率の表示	$\cdots$ になる確率を表示
215	コード 26 の 3 行目（コメント部分）※	n 回の試行結果 (この部分の空白を埋める)(※ A が勝てば $\cdots$	
215	コード 26 の 3 行目（コメント部分）※	B が勝てば 2，C が勝てば 3) を格納するベクトル	B が勝てば 2，C が勝てば 3) を格納するリスト
215	コード 26 の 22 行目（コメント追加）※	$\cdots$ = y	$\cdots$ = y ♯ (i+1) 回目の試行における勝者を記録
221	コード 31 の 3 行目と 4 行目の 2 箇所（コメント部分）※	$\cdots$ 円硬貨の合計金額	$\cdots$ 円硬貨の合計金額を格納する配列
224	コード 33 の 12 行目（コメント部分）※	k 番目の要素を 1 とし，k 番目の景品を取得済みとみなす	k 番目の要素を 1 とし，(k+1) 番目の景品を取得済みとみなす
229	コード 36 の 10 行目と 11 行目の間にコードを 2 行挿入（1 行目）※		correct_data = np.array([0, 0, 0, 0, 0]) # 訂正後のデータを格納

頁	場所	誤	正
229	コード 36 の 10 行目と 11 行目の間にコードを 2 行挿入（2 行目）※		`target_i = 0  # 訂正対象となるデータの添え字(※暫定的に初期値を 0 とする)`
229	コード 36 の 18 行目と 19 行目の間にコードを 1 行挿入※		`target_i = i`
229	コード 36 の 22 行目※	`data[i]`	`data[target_i]`
229	コード 36 の 23 行目※	`correct_data[i]`	`correct_data[target_i]`
229	コード 36 の実行結果	`data[i]`	`data[target_i]`
229	コード 36 の実行結果	`correct_data[i]`	`correct_data[target_i]`
238	コード 43 の 11 行目（コメント部分）※	表が出るまでに裏が出る回数を返す	初めて表が出るまでに裏が出る回数を返す